

広報

my hometown TOMIOKA 2015

とみおか

3

No.629



笑顔で鬼をやっつける～！

本町復興に向けた尽力を称える 平成27年富岡町表彰式・賀詞交換会

富岡町における政治・経済・社会・文化功労、また、東日本震災における支援など、町政の復興及び復興へ向けた取組みに寄与された方々を表彰する、平成27年富岡町表彰式が1月27日、いわき市のパレスいわやで行われました。

式には、町民や企業、各団体関係者など約150人が出席。特別功労表彰、功労表彰、善行表彰の各受賞者に、宮本町長から表彰状と記念品が贈られました。

表彰のあと、宮本町長が「皆様のご功労とご貢献に対し、深く敬意と感謝の意を表します。これまで培われた豊富な識見と尊い経験を生かし、今後とも富岡町復興と町民の皆様のため、一層のご支援助とご尽力をお願い申し上げます」と挨拶し、続いて行われた賀詞交換会では、近況報告や今後の取組みなどを話し合いながら懇親を深めていました。

表彰を受けた個人並びに団体は次のとおりです(敬称略)。

▼特別功労表彰
・高橋 実

(本町議会議員として、17年8

月の長きに渡り地方自治の復興、町政の発展、住民福祉の向上に寄与された)

・大原弘道

(本町監査員として、20年の長きに渡り公正で効率的な行財政運営に寄与された)

▼功労表彰

・(有)アイ・エイチ

・津田大介

(被災した本町の復興のため、多額の金員を寄付された)

・藤田幸一

(昭和63年3月より平成26年3月までの長きに渡り、本町消防団員として誠実にその職務を遂行し、住民福祉の向上と地方自治の振興発展に寄与された)

▼善行表彰

・富岡町消防団

(東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故による避難のため、住環境や練習環境が万全でない中、第39回福島県消防操法大会小型ポンプ操法の部において優秀な成績を収め、町民に勇気と感動を与えた)

県外避難者の支援拠点 さいたま市に開設 町民のコミュニティ維持を目指す

福島県外に避難されている町民の支援拠点事務所が、埼玉県さいたま市浦和区に開設されました。

1月20日に行われた開所式では、石井賢一教育長が「全国各地で避難生活を余儀なくされている町民が、一日も早く困難を乗り越え、穏やかな故郷を取り戻したいと願っている。県外避難者の皆様が生活再建を進められるような支援を提供したい」と宮本町長の式辞を代読。富岡町民2名を含む4名の支援員に復興支援員証が手渡されました。

今年1月1日現在、県外で避難生活を送る富岡町民は2258世帯、4333人。支援員は埼玉県労働者福祉協議会に所属し、長期に渡る避難生活で町民が孤立することの無いよう、戸別訪問や交流イベントの開催、また、避難先自治体や各種団体との連携など、支援活動を展開していきますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

◇支援拠点事務所所在地

埼玉県さいたま市浦和区

常盤6丁目4番21号

(京浜東北線浦和駅下車西口)

埼玉県労働者福祉センター

ときわ会館内

048-833-8731

(埼玉県労働者福祉協議会)



石井教育長から復興支援員証を受取る支援員(右)



事務所が入る埼玉県労働者福祉センター

富岡町復興支援員をご紹介します



ばんやりえこ
番屋理恵子さん
(富岡町様)

震災から約4年。私に出来ることはないのだろうか。そう考える毎日でした。非力ではありますが、同じ被災者として共に悩み、また、心穏やかに過ごせる日々のお手伝いをさせていただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。



こわたひでお
木幡日出夫さん
(富岡町本町)

はじめまして、木幡日出夫と申します。私は、埼玉県久喜市に避難し3年11ヶ月。茶話会を開いている友人や知人から色々な悩みなどを聞き、そんな町民の皆様のおかげで、今後ともよろしくお願いたします。



すずきなおきよ
鈴木直清さん
(南相馬市)

南相馬市から埼玉県鳩山町に避難しております。鈴木直清と申します。懐かしの故郷帰還に向けた取組みがなされていますが、かなり厳しい状況だと思っています。皆様が健康で明るく暮らせるお手伝いができればと思っています。



はやし ちから
林力さん
(埼玉県川口市)

はじめまして、このたび富岡町の復興支援員になりました林力と申します。富岡町出身で現在は埼玉県川口市在住です。町民の皆さんの生活状況や健康状態などをお聞きし、町との橋渡し役に徹したいと思っております。よろしくお願いたします。



埼玉県から出席されご挨拶をいただいた、友好都市・杉戸町の古谷松雄町長



挨拶する宮本町長



善行表彰を受ける富岡町消防団



この日出席された受賞者の皆さん(前列左から津田大介さん、高橋実さん、前列右・大原弘道さん、後列中央7人・安藤治団長ほか富岡町消防団)

町の復興へ大きな一歩 大規模太陽光発電所が着工

1月21日、富岡工業団地（赤木地区）で、シャープ富岡太陽光発電事業所の安全祈願祭が執り行われました。

本事業は、約2.2メガソーラー（一般家庭の約663世帯分に相当する発電規模）の太陽光発電設備を設置し、売電益の一部を復興事業に活用するもので、平成27年6月に運転開始を予定しています。祈願祭で宮本町長は「この



太陽光発電パネルの完成予想図

発電所は、町民が目で見えて体感できる復興のシンボルであり、新しい産業モデルの創造に向けた取組みの先駆けであると共に、町にとって大きな意義と可能性を秘めています」と挨拶しました。

いわきに初の県営復興公営住宅 下神白団地で鍵引き渡し式

いわき市内では初となる、富岡町民を対象にした県営の復興公営住宅が完成し、1月27日、鍵の引渡し式が行われました。

今回完成したのは、小名浜下神白と永崎両地区に建設される「下神白団地」全6棟のうち1号棟と2号棟で、3月中の完成を目指す残り4棟には、大熊町、双葉町、浪江町から避難している住民が入居



2月から入居が開始された下神白団地

します。

式には関係者ら約40人が出席。宮本町長が「町民の間でコミュニティを大切にしながら、一日も早く落ち着いた生活を取り戻していただくために、復興公営住宅の情報提供など、住宅に関する町民の不安解消に努めてまいります」と祝辞を述べたあと、入居者代表の高木紀夫さんと遠藤一廣さんに鍵のレプリカが手渡



関係者によるテープカット
(右から入居者代表の遠藤一廣さん、高木紀夫さん、宮本町長、清水敏男いわき市長、大谷誠二いわき建設事務所長、太田和夫災害防止協議会長)

されました。

高木さんは「今まで暮らしていた泉玉露仮設住宅の皆さんと離れるのは淋しいですが、新しい環境でもコミュニケーション作りをしたいです」と、また、遠藤さんは「一度抽選に漏れたが再抽選で当選しました。これからの生活が楽しみです」と語られ、新たに始まる生活再建に向けて期待を寄せられました。

富岡町農業復興組合が発足 農業の復興と地域振興を目指す

町内の農地（水田）を保全管理する富岡町農業復興組合が発足し、2月5日、富岡町役場郡山事務所で設立総会が行われました。

会に先立ち、宮本町長が「農業の復興に関しては、除染後の農地が再び荒廃しないよう保全管理体制を早期に確立することが重要。避難生活を強いられている中での農業復興組合設立というご決断に、大きく期待するところです」と挨拶。その後、発起人で富岡町農業委員会農地調整委員長

の遠藤祝穂さん（仲町）が組合長に選出されました。同組合は、町農業委員、機械利用組合長、認定農業者、さらに町内を8つの区域に分けた各代表者ら25人で構成。現在、平成28年度までの終了を目指し町内の農地除染が行われていますが、除染終了後に引き渡された水田から順次、耕起や除草を行い、その後



農地再生に向けた意見が出された設立総会

れる見込みのある農地を保全しながら、将来の農業復興や地域振興に向けた事業に取り組んでいきます。今回選出された、遠藤組合長以外の役員名は次のとおりです（敬称略）。

- ▽副組合長 渡邊達生
- ▽庶務 横田貢一
- ▽会計 佐藤浩一
- ▽監事 小坂義浩、遠藤清一

「内陸と沿岸の交流史—郡山と富岡の資料を通して」を開催 歴史的災害を越え、新たな交流へ

郡山市主催、富岡町共催による文化財企画展「内陸と沿岸の交流史—郡山と富岡の資料を通して—」が、1月31日から2月11日まで、郡山市の市民ふれあいプラザで開催されました。

会場には郡山市や富岡町の考古資料から読み取れる両地域の共通性や違いの紹介のほか、昨年6月に設立した富岡町歴史文化等保存プロジェクトチーム（PT）の活動の様子も紹介されており、PTが町内の民家から「救出」した歴史資料や、震災を伝える資料として地震発生時で時間が止まった時計なども展示されました。



③



②



①

- ①小浜代遺跡の瓦 ②赤坂神社（小良ヶ浜）の算額（複製）
- ③「震災を伝える資料」電源が止まった富岡駅前ミチ美容室の時計

に同じ代官が支配した地域があることや、両地域共に宿場として賑わいを見せたという共通点があることから、当時の人々の交流の様子を伝える資料も公開されました。会場には富岡町民も多く訪れ、両地域の歴史的な背景を通して共通性や違いから「古里」に思いを馳せていました。



医療費一部負担金・介護サービス利用者負担金の免除期間延長について

現在、国民健康保険及び後期高齢者医療保険に加入されている方が医療機関等を受診した際に支払う窓口負担金は、平成27年2月28日まで免除（入院時食事療養費や接骨院等の療養費を除く）となっておりますが、平成28年2月29日まで免除期間が延長となりました。

い場合、免除を受ける事ができませんのでご注意ください。

また、被災証明書（紙及びカード）では医療費の免除は受けられません。

なお、介護保険サービス利用料の免除も1年間延長となりましたが、介護保険被保険者証を提示することで引き続き免除が受けられるため、免除証明書の発行はしていません。

◆国民健康保険加入者
登録されている避難先ごとに送付しておりますので、お手元に届いているかご確認ください。

◆後期高齢者医療保険加入者
加入者本人宛に送付しておりますので、お手元に届いているかご確認ください。

●国民健康保険・後期高齢者医療保険
住民課 国保年金係
【介護保険】
健康福祉課 介護保険係
【社会保険等】
加入されている協会けんぽ・保険組合、事業所など

一部負担金免除の期間延長に伴う助成・給付事業について

乳幼児及び子ども医療助成

受給者・重度心身障害医療費給付受給者・ひとり親家庭医療費助成受給者は、医療費の一部負担金が免除される期間中は、一部負担金等免除証明書を医療機関などの窓口にて提示してください。

なお、一部負担金免除の対象から外れる左記の医療費については、申請により助成いたします。

▼助成対象
①入院時食事療養費
※重度心身障害医療費給付受給者を除く。
②医療保険で適用となる柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師・はり・きゅう師の施術費、治療用の舗装具費

▼一部負担金免除が終了した受給者の取扱い
一部負担金免除の特例措置が終了した受給者は、自己負担した医療費を申請により助成します（乳幼児及び子ども医療助成受給者は、必ず受給者証を医療機関の窓口にて提示してください）。

●乳幼児及び子ども医療助成事業
住民課 国保年金係
【重度心身障害者医療費給付事業・ひとり親家庭医療費助成事業】
健康福祉課 福祉係

町民交通傷害保険申込受付

町では、町民交通傷害保険の加入受付を行います。

車両（自動車・バイク・電車・自転車）等に乗車中、衝突や転倒した場合に保険対象となりますので、避難先の慣れない土地での事故に備え、ご家族で加入されてはいかがでしょうか。

加入できるのは、平成27年4月1日現在、富岡町に住民票がある方で、年額1口360円（月額30円）で、1人2口まで申込みできます。

また、次の方々については1口分の保険料補助を行います。補助申請と加入手続きは町が行い、対象者は自動的に保険加入及び保険料補助となります。

なお、もう1口加入される場合は、追加保険料（自己負担）と加入手続きが必要となりますのでご注意ください。

◆保険料補助対象者（平成27年4月1日現在、富岡町に住民票がある方）

- ・避難先の保育所に通う幼児
- ・避難先の幼稚園に通う園児
- ・避難先の小学校に通う児童
- ・避難先の中学校に通う生徒

・平成27年4月1日現在で70歳以上の方

※保育所及び幼稚園に通うお子さんについては、通所・通園の状況を確認するため、自己加入手続き及び保険料の補助申請が必要となります。対象世帯へは、3月上旬に必要書類の送付を予定しております。

▼支払われる主な保険金（1口につき）
死亡、重度障がいの場合 100万円
治療を受けた場合 5千円～12万円

※10万円以上の保険金請求については、事故証明が必要となりますので、重度のケガを負った場合は警察に連絡してください。なお、歩行中に転倒した場合は、対象となりませんのでご注意ください。

加入受付場所

富岡町役場郡山事務所、いわき支所、三春・大玉各出張所
※郵送での受付も行いますので、生活環境課までお問合わせください。

受付開始日

平成27年3月17日（火）
●生活環境課 消防交通係

富岡町社会福祉協議会 職員募集のお知らせ

富岡町社会福祉協議会では、下記のとおり職員を募集いたします。応募される方は、下記までお申込みください。

- ▶募集職種 介護支援専門員兼生活支援相談員
- ▶雇用形態 常勤（正規職員）
※試用期間6ヵ月後に正規採用予定
- ▶勤務時間 8時30分～17時15分（休憩60分）
- ▶勤務地 郡山市富田町応急仮設住宅内 高齢者等サポート拠点
- ▶年齢 昭和45年4月2日以降に生まれた方
- ▶資格 介護支援専門員（必須）
- ▶募集人員 1名
- ▶賃金 当協議会給与規程により支給
- ▶選考方法 書類選考、作文、面接
※面接日程等の詳細については、応募後にご連絡いたします。

▶加入保険 健康保険、厚生年金、雇用保険
▶申込方法 市販の履歴書（顔写真貼付）と資格証明書（写）を下記まで郵送、または持参してください。
※平成27年3月16日必着

▶申込先 〒963-8041 郡山市富田町字若宮前32 富岡町社会福祉協議会総務係 担当/佐藤・宍倉 ☎024-935-3345 FAX024-935-3346

放射性セシウム濃度測定日のお知らせ

【ゲルマニウム半導体式核種分析装置（検出限界目標1ベクレル）】
20ベクレル以下の小さい値も検出でき、富岡町では1ベクレル検出を目標に定め、測定しています。

受付月	測定日	測定場所
3月受付分	4月13日（月） 4月24日（金）	富岡町役場庁舎 （本岡字王塚）
4月受付分	5月7日（木） 5月18日（月）	
5月受付分	6月8日（月） 6月22日（月）	

※富岡町内の水・土壌・果樹等を測定します。
※詳細は、申込まれた方へ毎月初旬にご連絡いたします。
▶申込み先 富岡町役場産業振興課 ☎0120-33-6466

【簡易放射能分析装置（検出限界値 約20ベクレル）】
20ベクレル以上の放射能を検出します。

実施施設	申込み先
富岡町役場郡山事務所	富岡町コールセンター ☎0120-33-6466
いわき支所	
大玉出張所	
三春ベクレルセンター（三春の里敷地内）	☎080-3933-6772

※各施設で予約を受け付けております。申込み先へご連絡いただいた際に、ご希望の実施施設をお選びください。

清水行政区の皆さまへ
平成26年度 清水行政区通常総会
開催のお知らせ

清水行政区通常総会を下記のとおり開催いたします。多くの皆さまのご出席をお待ちしております。

- 日時 平成27年3月28日（土）
午後1時～3時
- 場所 かんぼの宿いわき 会議室（いわき市平藤間字芝崎60）
- 内容 ・平成26年度事業及び会計報告
・平成27年度事業及び会計審議
・その他（役員改選等）

※総会終了後、宿泊で親睦会を予定しております。

◇問合わせ先

- ・区長 猪狩 浩（☎090-6789-7725）
- ・副区長 渡辺長一（☎090-2271-1546）

富岡町ごみ出しカレンダー

平成27年3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日						
8	9	10	11	12	13	14
燃えるごみ、ごみ出し日						
15	16	17	18	19	20	21
燃えるごみ、ごみ出し日						
22	23	24	25	26	27	28
燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日						
29	30	31	4月1日	4月2日	4月3日	4月4日

ごみは分別したうえで、上記の回収日にお出しください。回収業者は、数日かけて町内のごみステーションを巡回し、順次、ごみの回収を行います。粗大ごみやリサイクル対象家電、危険物等は、ごみステーションでの回収はいたしません。分別方法やごみの出し方については、11月21日発行の広報お知らせ版に同封の「平成26年12月からのご家庭の片付けごみの回収について（お知らせ）」又は町ホームページをご参照ください。

●生活環境課 環境衛生係

問合わせ先

- 富岡町役場郡山事務所
富岡町議事事務局
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
FAX 024-961-3441
○富岡町教育委員会
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
FAX 024-953-6304
○榎葉分室(復旧課・復興推進課)
〒979-0515
福島県双葉郡榎葉町大字上小崎字小山6-2
FAX 024-25-8254
○富岡町役場いわき支所
〒970-8024
福島県いわき市平北白土字宮前8番地
FAX 0246-88-1975
○富岡町役場三春出張所
〒963-7719
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
FAX 0247-62-0901
○富岡町役場大玉出張所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
FAX 0243-48-1147
※上記への連絡はコールセンター
☎0120-33-6466まで
○富岡町役場連絡所(下郡山集会所)
〒979-1132
福島県双葉郡富岡町下郡山字真壁327-1
☎ 080-5743-5409・
080-5743-5410
FAX 0240-25-8804
○大玉仮設診療所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎ 0243-48-4710
FAX 0243-48-4710
○NPO法人富岡町さくらスポーツクラブ
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
☎ 024-983-5299
FAX 024-983-5297
○富岡町社会福祉協議会
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポ-ト拠点施設内
☎ 024-935-3345
FAX 024-935-3346
○おだがいさまセンター
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポ-ト拠点施設内
☎ 024-935-3332
FAX 024-935-3334

あなたの自動車は正しく登録されていますか？

自動車税は、毎年4月1日午前0時現在で車検証上の所有者となつてゐる方(割賦販売の場合は使用者)に課税されますので、次に該当する方は平成27年3月31日までに、名義変更や抹消登録の手続きが必要となります。
①下取りに出した方
②他人に譲り渡した方
③廃車にした方
これらの手続きが3月31日までに終了しない場合、前の所有者に課税されることとなります。

また、車の所有者が亡くなった場合も、相続人への名義変更が必要となりますので、手続きを行ってください。
【自動車税に関すること】
福島県相双地方振興局県税部
☎0244-266-1127
【自動車の登録手続きに関すること】
国土交通省東北運輸局福島運輸支局
☎0501554012015
いわき自動車検査登録事務所
☎0501554012016

富岡町各種計画(案)縦覧のお知らせ

- 町では、「富岡町子ども・子育て支援事業計画(案)」及び「富岡町第2期障がい者基本計画(案)」 「富岡町第4期障がい福祉計画(案)」の策定にあたり、下記のとおり縦覧を行います。
▶縦覧期間 平成27年3月4日(水)～平成27年3月31日(火)
▶縦覧時間 平日9時～16時
▶縦覧場所 富岡町役場郡山事務所1階健康福祉課内

Table with 4 columns: 計画名, 策定根拠, 計画期間, 縦覧根拠. Rows include 富岡町子ども・子育て支援事業計画, 富岡町第2期障がい者基本計画, 富岡町第4期障がい福祉計画.

図 健康福祉課 福祉係

国家公務員採用試験のお知らせ

人事院では、次のとおり国家公務員採用試験を実施いたします。
申込方法や受験資格等の詳しい内容は、人事院ホームページ(http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm)、または下記にお問合わせください。

Table with 3 columns: 試験名, 申込受付期間, 一次試験日. Rows include 総合職試験(院卒者・大卒程度試験), 一般職試験(大卒程度試験), 一般職試験(高卒者試験).

図 人事院東北事務局 第二課 試験係 ☎022-221-2022

広報とみおか 送付先についてのお知らせ

平成27年2月6日発行の広報とみおか2月号より、広報紙が同じご住所にお住まいのご家族に重複して送付されるケースが発生しております。これは、このほど実施いたしました富岡町避難者管理システムの変更により生じているもので、今後は広報紙発送に係るデータを精査させていただき、送付先や部数の見直しを行う予定となっております。
なお、今まで広報紙が届いていたのに届かなくなった、または、広報紙は不要なのに届くようになったなどの方がいらっしゃいましたら、お手数でも電話またはメールにて下記までご連絡をいただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

図 企画課 広聴広報係
電話 0120-33-6466
メール tom0200-0@tomioka-town.jp

平成27年度町臨時職員登録のご案内

町では、必要に応じ各種業務の補助員として雇用する臨時職員登録者を募集しています。登録を希望される方は、左記によりお申込みください。
なお、雇用開始日と雇用期間は不確定です。

- ▼職務内容 一般事務(Word、Excelができる方)、避難者支援業務
▼雇用期間 6カ月以内
▼職務時間 町職員の勤務時間に準じます。ただし、職務により勤務時間が異なることがあります。
▼申込手続き 市販の履歴書に必要事項を記入の上、役場総務課に郵送又はご持参ください。
※履歴書の現住所欄に住居登録がある住所、連絡先欄に避難先住所を記載してください。
▼申込期間 平成27年3月9日(月)～平成27年3月19日(木)
※土日、祝日を除く。郵送の場合は、3月19日当日消印有効。
図 総務課 総務係

双葉地方水道企業団からのお知らせ

水道水中における放射性物質のモニタリング検査結果
双葉地方水道企業団では、福島県の「水道水の放射性物質モニタリング検査実施要領」に基づき週3回の検査を実施していましたが、12月15日採水分より検査を毎日実施しています。結果は以下のとおりです。
水道施設の復旧工事は、道路・下水道の復旧に合わせて配水系統ごとに進めています。水道の使用が可能となった区域については、広報紙等により案内いたします。なお、水道メーター付近の調査及び止水作業のため、お客さまの敷地内に立ち入らせていただく場合がありますのでご理解とご協力をお願いいたします。

Table with 4 columns: 採水年月日, ヨウ素131, セシウム134, セシウム137. Rows show sampling dates from 1/1 to 1/31 and detection results (不検出).

測定機関：双葉地方水道企業団
分析装置：ゲルマニウム半導体検出器
検査頻度：毎日(12月15日採水分以降)
測定方法：緊急時におけるガンマ線スペクトル解析法(放射能測定マニュアル(文部科学省))
※これまでに暫定規制値が設定されていた放射性ヨウ素については、半減期が短く、国に平成23年7月15日以降の検出報告がないことから、規制の対象から除外されました。

図 双葉地方水道企業団 富岡営業所 ☎0240-25-5315 開庁時間：平日8:30～17:15

笑顔でつなぐ富岡町民の絆 いわき市の広域自治会「すみれ会」と「さくらの会」で新年会



いわき市在住富岡町民の会「すみれ会」の新年会は、1月31日に勿来温泉関の湯で行われ、参加された皆さんが美味しい料理に舌鼓を打ちながら賑やかな時間を過ごしました。

会長の田中美奈子さんは「すみれ会の新年会も3回目。参加して下さる皆さんも年々増えています。もうすぐ震災から4年が過ぎますが、これからどうしようではなく、しっかり自立できるよう前を向いて頑張っていければいいですね」と語られました。



2月4日にかんぼの宿いわきで開かれた、いわき地区広域自治会「さくらの会」の新年会。

会長の猪狩レイ子さんは、挨拶の中で「町は少しずつですが着実に復興に向けて動き出しました。富岡への帰還まではまだ時間がかかると思いますが、町民同士、横の連携をしっかりと取りながらスクラムを組み、帰れる日が来るまで元気で過ごしましょう」と語られ、参加された皆さんは近況報告などをしながら楽しいひと時を過ごし、親睦を深めました。

協力し合い、最後まで頑張りました 富岡小学校三春校スキー体験

1月30日、富岡小学校三春校による冬のスキー体験活動が、猪苗代町の「ファミリースノーパークばんだい×2」スキー場で行われました。

今回参加したほとんどの児童にとって初めてのスキーでしたが、お互いに励まし合いながら最後まで取組み、白銀の世界に元気の歓声を響かせていました。

また、昨年に続いて千葉大学の学生も参加し、豆まき体験では鬼になって登場。児童たちは自分の中の悪い鬼を追い出そうと元気いっぱいの掛け声で豆を撒き、鬼を退治しました。

スキー体験を通して、諦めない気持ちの大切さを学んだ児童たち。これからも自分の大きな夢に向かって走り続けてほしいと思います。



スキーをマスターし、笑顔の児童たち

輝く未来を君たちの手に 14歳・立志のつどい



堂々と立志の誓いを発表

2月4日、富岡第一・第二中学校三春校で立志のつどいが行われ、14歳という人生の節目を迎えた2学年の生徒7名が立志証書を受取りました。

つどいでは、生徒一人ひとりが将来の夢や、その夢を叶えるために取組むことを堂々と発表。富一中の吉田隆見校長が「目標は自分の生き方そのものであり、充実した人生を送るためには目標を立てることが大切です。14年間の人生を振り返り、身の回りの方へ感謝できる人になってください」と励ましの言葉を贈りました。

また、つどい終了後に開かれた記念講話では、富二中卒業の小西亮太さん(新夜ノ森)が自分の経験を踏まえながら「目標を持って努力することの大切さ」を伝え、生徒たちは夢実現へ向けて気持ちを新たにしていました。



富二中・山田克行校長より記念品を受取る生徒



長男の大学進学が決まり、子育てはラストスパート入り

長年の信頼関係が続いてきた商売
私は、妻と共に夜ノ森駅近くで
食料品店「中田商店」を営み、店

夜の森駅前南行政区副区長。
被災前まで、JR夜ノ森駅近
くで食料品店を経営していた。
避難後、商売はできなくなっ
たが、故郷への思いを込めて
消防団による「とみおか守り
隊」に従事している。
現在、郡山市内の自宅で妻
長男、そして愛犬と共に生活
している。

地域密着の「店や」としての強さ
揺れが落ち着き始め日暮れを迎え
た頃から、その夜をしのぐための水
や食料などを求めて、近所の方々に
中心にお客様が来店するようになり
ました。また、夜になってからは、
避難所で配る食料などの調達のため
に役員職員が訪れたため、店内にあ
る商品を集めて、可能な限り対応し
ました。大手スーパーなどは、停電
でシステムが動かさず対応できなかつ
たようですが、そういう点では地域

頭販売の他、町内の学校や公共施
設、飲食店等への配達、また業務
用食材などの販売を行っていました。
スーパードライなど大手量販店の出
店が相次いでいましたが、地域の
皆さんに支えられながら、長年築
いてきた信頼関係の中で商売を
行ってきました。
地震発生時、私たち夫婦は店内で
中学校に納品する食材の準備等を行
っていました。揺れで店内にあつた
商品のほぼ全てが散乱し、停電の
ためにレジや冷凍・冷蔵庫も使えな
い状態でした。余震の中、店内を片
付けられる状況ではありませんで
した。

この春、被災当時、中学2年生だつ
た長男は高校を卒業し、東京の大学
に入学することになりました。これ
から夫婦2人の生活となりますが、
近所に住む両親らと共に日々を送つ
ていこうと思えます。

密着の「店や」ならではの存在が、
こうした有事の際に少しでも皆さん
のお役に立つことができたのかと
思っています。
故郷を離れても「故郷のために」
私の場合、富岡・夜の森という土
地と人との繋がりの上に商売が成り
立っていたため、違う土地での事業
再開は難しい状況です。避難して間
もないときは、一時立ち入りの度に辛
い思いをしましたが、店舗兼自宅は
帰還困難区域の中にあるため、気持
ちを切り替えて郡山市内に落ち着く
ことにしました。
現在、私は町の臨時雇用事業であ
る「とみおか守り隊」に従事し、避
難により住民が留守になっている富
岡町内の防犯・防火・パトロールを
行っています。特に避難指示区域の
再編以降、自由に立ち入りできる地域
が増えたため、より念入りに眼を配
るようにしています。

TOMIOKA 桜通信

第35号

東日本大震災と原発事故により、私たちはふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」は、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



まちの思い出

まちの思い出

横田 シゲ子さん (小浜)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



ちぎり絵を通して心とむひと時を

避難で家族は離散したが被災するまで、私たち家族は長男夫婦ら5人で生活をしていましたが、避難以降は4カ所に分かれて生

郡山市の緑ヶ丘急仮設住宅に入居して間もなく、被災前から続けていた「ちぎり絵教室」の活動を再開した。現在、教室には12人の生徒が所属している。
ちぎり絵教室の主宰、茶話会への参加、評判の漬物づくりなど、忙しい日々を送っている。

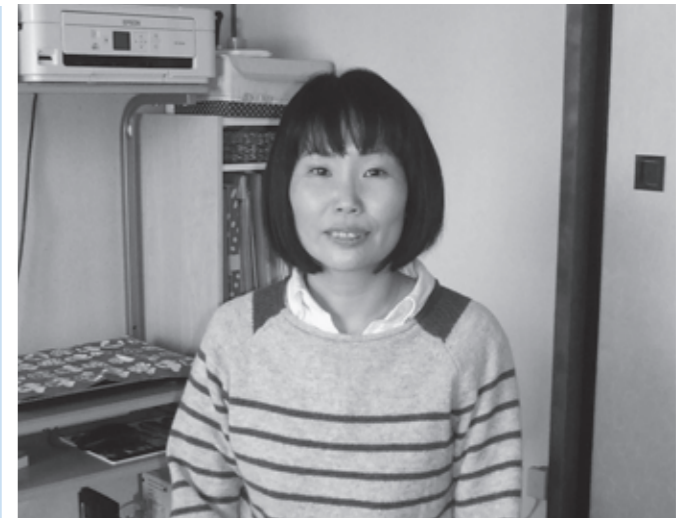
生徒1人からの教室再開
震災以前、私は富岡町の「小浜趣味の会」で生け花とちぎり絵の講師を務め、30人以上の生徒が所属していました。また、同じ地区の皆さんと共に、毎年開催される富岡町総合作品展に向けてちぎり絵の製作活動もしていました。
仮設住宅に入居して約1カ月後、同じ仮設住宅で生活していた川内村の方がちぎり絵に興味を持ってくださいました。その後、私が教室を再開したという情報が広まり、現在の生徒数は一期生6人、二期生6人の計12人となっています。教室は第一・第三の



緑ヶ丘急仮設住宅の集会場に展示している生徒の皆さんの作品

火曜日と木曜日に開催していますが、開始時刻である朝9時には生徒の皆さんが訪れ、時間を忘れるほど熱中して作品作りに取りかかっています。
ちぎり絵は、和紙の柔らかさが出てくるため、見ている人の心を和ませてくれます。私自身、ちぎり絵を始めて20年以上経ちますが、その奥の深さに飽きることはありません。
完成した作品は、仮設住宅の集会場に展示したり、郡山市や須賀川市で開催された作品展に出品するなどしています。また、仮設のパトロールなどでお世話になっている警察署の方々に、日頃の感謝を込めた作品を寄贈させていただいています。

大郷 廣美さん (王塚)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



母(かよちゃん)も、私たち親子も元気です!

子どもの頃からバドミントンを続けている。
避難した年は埼玉県内で過ごしたが、その翌年からは、いわき市内に移り生活している。

名前より「かよちゃんの娘」で通る
震災前、私は夫、長男と共に王塚で暮らしていました。母が町内で焼鳥店「かよちゃん」を営んでおり、店を手伝うことも多かったため「かよちゃんの娘」として私の顔を知っている町民の皆さんの中には、この桜通信で私のフルネームを初めて知

るといふ方も数多いと思います。
避難後、母の店を利用していただいていたお客様と再会した時「かよちゃんはもうしてんの？」と聞かれることが多いですが、母は元気になっておりますので、かよちゃんファンの皆様、どうぞご安心ください。
避難先でも「かよちゃんの娘」
避難指示を受けて、私たち家族は大熊町内に住む姉家族や榎葉町内に住む叔父と共に、叔母を頼って埼玉県川口市へと向かいました。当初、叔母宅でお世話になりましたが、隣接する越谷市の避難所を経て、同市内で市民の方から一軒家を無償提供していただき(後に借上げ住宅に転換)姉、叔父らと共に生活しました。
生活を始めてしばらくの間、私は長男の学校の手配などで気持ちが落ち着く状態にはなりませんでしたが、しかし、こうした間でも母は持ち前の「社交性」をしつかりと発揮して周囲の皆さんとの交流を図り、約40年近く生活してきた富岡にいた時と同様に、越谷でも「かよちゃん」になっっていました。そのため、私も自然と近所の方から「かよちゃんの娘」

と呼ばれるようになりました。そんな母のおかげで、比較的良好な生活環境に恵まれましたが、平成23年4月には夫が仕事のためにいわき市内で単身赴任生活を始め、私と長男は、その年末にいわき市へ移動しました。母は、現在も越谷市で楽しく生活しています。
バドミントンで自分を取り戻す
私と姉はバドミントンという共通の趣味を持っており、被災までは双葉町内の同じスポーツクラブに所属していました。越谷市に避難してからも、市内の体育館で活動しているバドミントンクラブに入れてもらい、長男が学校に行っている時間などを利用して楽しんでいました。また、いわき市に移ってから、バドミントン仲間を紹介していただいた地元のクラブに所属し活動しています。
避難後しばらくは、先が見えないという不安に精神的なストレスを感じることもありましたが、バドミントンを通して仲間にも恵まれ、自分らしさを取り戻すことができていると思います。

佐藤 光信さん (小良ヶ浜)
TOMIOKA 桜(さくら) 通信



故郷とお世話になっている地域に感謝の日々

好間町応急住宅の3代目自治会長
平成23年7月、家族と共にいわき市好間町応急仮設住宅に入居しました。入居当初から自治会の立ち上げにも関わり、発足後は班長や

昨年4月より、いわき市好間町応急仮設住宅の自治会長を務めている。富岡町の仮設住宅自治会、借上げ住宅自治会、行政区長の中では最年少。現役子育て世代の自治会長として、より快適な生活環境を目指し奔走している。

庶務などを務め、自治会活動には積極的に参加してきました。そして昨年4月、前自治会長をはじめとする皆さんから推挙され、3代目の自治会長を務めることになりました。報道等によると、被災から時間が経過するにつれて、入居者の減少や高齢化などが進み、当町ではありませんが、一部の仮設住宅では自治会が解散したり、事実上の活動休止などの事態が起きているそうです。私たちのように仮設住宅で生活する者にとつて、生活環境の維持・向上、行政やボランティア等との連絡・調整のためにも自治会が必要な存在だと思っています。これまで自治会の役職を経験してきましたが、自治会長に就き、改めて責任や忙しさの度は重く大きいものだと感じています。また、仕事を抱えながらの活動となるため、時間的な制約があることも確かです。幸い、私は三交代勤務のため、平日の昼間に時間の融通が効く部分もあり、自治会役員の皆さんの協力も得ながら、自治会長としての仕事を続けることができています。

お世話になっていることへの恩返し
故郷を離れ、この町で生活し、子どもはこの町の学校に通っています。震災ではいわき市内も大きな被害を受け大変な状態になっているにも関わらず、私たちが受け入れていただいています。私は、お世話になっていることについて、自分のできる範囲で少しでも恩返しになるようなことをしたいと思っています。そのため、近所の通学路の危険箇所や交通誘導を行ったり、子どもが通っている好間第一小学校のPTAで副会長を務めるなどしています。現在、多くの子どもたちが避難先の学校にお世話になっていますが、保護者の皆さんの多くは子どもが通学先のPTA活動に関わることが少ないのではないかと思います。私は逆に世話になっているからこそという気持ちで積極的に参加しています。また、この4月からは、同小学校のPTA会長を務めることになりました。避難により町を離れています。富岡町の消防団員として「とみおか守り隊」や、仮設住宅の防火・防犯巡回の活動に参加することも続けています。

渡邊 武夫さん (王塚)
TOMIOKA 桜(さくら) 通信



夫婦揃って元気で笑顔を忘れずに

約20年前にグラウンド・ゴルフを始め、自宅のある行政区のゲートボールチームにも所属し、震災前には東北大会に2回出場するほどの腕前になっていた。現在、避難先のチームに所属し、夫婦でグラウンド・ゴルフを楽しんでいる。

趣味が多忙な日々
町を離れてから、福島市内の長女一家の元に身を寄せています。同市で生活した経験はありませんでしたが、故郷に帰還するまでの長期滞在

と思えば、その土地に慣れるのも早いものだなと思っています。私は約20年前、孫の散歩がてら訪れたグラウンド・ゴルフの練習場で、プレーしていた叔父から進められたのをきっかけに、同競技を始めました。その後、自宅のある王塚地区のゲートボールチームから、メンバーが足りないからと声をかけられて参加するようになりまし。震災に遭うまで、ゲートボールの東北大会に福島県代表のメンバーとして2回出場しています。また、親類が主宰する渡辺民謡愛好会で民謡も楽しんでいました。富岡町で暮らしていた時は、グラウンド・ゴルフとゲートボールをそれぞれ午前と午後に分けて週3日、さらに民謡、孫の世話と、夫婦で現役世代と変わらない時間を過ごしていました。

皆さんのご厚意に感謝

福島市に避難し、同居していた長男家族とも離れ、初めのうちは気持ちに穴が空いたような感じでした。しかし、平成23年5月、福島市内の体育施設に避難している浪江町の皆さんが、市内のグラウンド・ゴルフクラブのご厚意でプレーされている

という新聞記事を拝見し、クラブの会長に連絡したところ、私たちのことも温かく迎え入れてくださいました。ゲートボールについては、一時、地元クラブに参加しましたが、メンバーの高齢化等により活動を休止しています。また民謡については、福島市内の愛好会、南相馬市小高区から市内へ避難されている方の愛好会、富岡町から郡山市に避難している三味線の師匠による教室などに参加しています。福島市は、長女一家が居を構えている場所とはいえ私たち夫婦にとつては地縁が薄いところでしたが、グラウンド・ゴルフや民謡など、温かく迎え入れてくださった同市民の皆さんや他市町村から避難している皆さんのご厚意には感謝の気持ちでいっぱいです。

早期の帰還を願う日々

私たち夫婦は、一日でも早く富岡に戻れる日が来ることを望んでいます。そのためにも、除染や生活インフラの復旧をより速く進め、私たちの世代だけではなく、若い方々も安心して生活できる環境を整備していただきたいと願っています。

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)
 ※以前の線量と比較することを目的とし、6ヵ月前の町内線量と除染済みの測定場所を示しました。

No.	測定場所	H27.2.3~4		H26.8.1~2		除染状況
		天気:晴れ		天気:晴れ		
		地上1m	地上1cm	地上1m	地上1cm	
1	下千里消防屯所	0.74	0.56	工事中	工事中	除染済み
2	上千里消防屯所	0.33	0.31	0.55	0.43	除染済み
3	杉内消防屯所	0.52	0.48	0.75	0.57	除染済み
4	第二工業団地入口	1.85	2.38	3.53	3.19	
5	高津戸集会所	1.19	0.84	1.23	1.18	除染済み
6	富岡第二中学校東側	1.62	2.08	1.77	2.24	
7	新夜ノ森集会所	4.04	6.52	5.10	7.60	
8	夜の森公園	2.02	4.63	2.41	5.49	
9	松の前待避所	6.23	10.80	8.14	9.31	
10	小良ヶ浜集会所	3.75	3.77	5.01	6.93	
11	町境(小良ヶ浜地区)	5.34	6.00	7.32	18.30	
12	深谷消防屯所	4.04	4.24	5.01	5.50	
13	富岡町宮野球場	0.78	0.59	0.86	0.62	除染済み
14	観陽亭前	0.88	1.50	1.00	1.96	
15	富岡合同庁舎西側	2.03	1.98	2.48	3.16	
16	富岡養護学校	2.46	5.36	3.05	5.31	
17	老人福祉センター	4.27	6.92	5.92	9.92	
18	夜ノ森駅	4.01	4.47	5.05	6.09	
19	王塚集会所	1.25	1.66	1.47	1.00	除染済み
20	諏訪神社前	0.68	0.54	2.46	2.97	
21	上本町消防屯所	0.92	0.97	2.55	3.88	除染済み
22	上本町集会所	0.56	0.50	1.75	2.65	除染済み
23	リバルルヒルズ入口	1.45	3.03	1.78	3.21	
24	赤木集会所	0.25	0.28	0.47	0.31	除染済み
25	上郡山集会所	0.34	0.35	1.24	1.62	除染済み
26	太田集会所	0.58	0.60	0.65	0.65	除染済み
27	原下消防屯所	0.37	0.54	1.22	1.48	除染済み
28	富岡駅	工事中	工事中	0.68	1.82	
29	清水消防屯所	0.49	0.42	0.58	0.56	除染済み
30	役場	0.89	1.07	0.99	1.19	除染済み
31	浄化センター	0.20	0.16	0.26	0.17	除染済み
32	毛萱集会場	0.18	0.17	0.45	0.36	
33	富岡保育所	0.53	0.48	1.79	3.21	
34	中央児童館	0.80	1.29	1.11	1.91	除染済み
35	栄町駐車場	0.74	0.52	0.73	0.59	
36	岩井戸消防屯所	0.35	0.27	0.43	0.29	除染済み

測定器: γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

私たちのお医者さん

こんにちは。大玉仮設診療所です!



第22回 「退職のご挨拶」

佐藤 正憲 医師(さくらクリニック)

ボランティア医療班(左から井坂晶医師、私、妻・眞弓、坂本初子薬剤師、堀川章仁医師)

平 成23年3月11日の東日本大震災発生当時、私は富岡町・新夜ノ森で「さくらクリニック」を開業していました。私の専門は脳神経外科でクリニックにMRI装置を設置し、中枢神経系疾患の早期診断や予防的な脳ドックなどを行って来ました。地震が起きたのは診察中で、私は患者さんやスタッフと共にクリニックの駐車場に逃げました。地震の直後に辺り一面が真っ暗になり、吹雪いてきた時にはこの世の終わりのかと思えました。妻は郡山市の実家へ出かけており、互いに安否を気遣いながら、私は駐車場の車で暗黒の一夜を過ごしました。

翌12日に富岡町民の川内村への集団避難が始まりました。私は川内村診療所で診療しましたが、電話が繋がらず家族が心配になり、後ろ髪を引かれる思いで郡山市の実家へ向かいました。家族の無事を確認後、

川内村診療所へ戻ろうとしましたが、ガソリンの補給ができなかったため断念しました。3月19日の新聞で富岡町民と川内村民の約3000人が郡山市のビッグパレットふくしまへ避難していることを知り、妻と共に駆けつけました。当日から富岡町医師会の井坂晶先生と堀川章仁先生、薬剤師の坂本さん、看護師の妻とボランティア医療班を立ち上げ、ビッグパレットふくしま内に救護所を開設しました。避難生活のストレスから体調を崩される方が多く、受診者数は1日に150名以上となることもありました。診療だけでなく、役場職員・保健師など多職種で施設内を回診し、重症患者を迅速に発見して救急搬送することができました。幸い、ビッグパレットふくしま内での死亡例はありませんでした。

郡山市の寿泉堂病院・脳神経外科で午前の外来を担当し、午後は救護所で診療を行いました。山梨県・広島県などからの応援医師が定期的に派遣されたので、5月からは常勤医となり、土曜日の午後のみ救護所で診療しました。妻は救護所開所から閉所まで診察介助を一人で担い、8月からは大玉村仮設住宅内の集会所で診療のお手伝いをしました。10月に富岡町大玉仮設診療所が開所し、私は月曜日の診療を担当し、妻は月・木・金曜日に勤務しました。平成24年7月1日からは、川内村診療所で勤務しながら引き続き妻と共に月曜日の診療を担当しました。川内村から約2時間半かけて車で通勤しました。平成26年4月からは水曜日の診察となり、妻は水・木の3日間勤務しています。



離れていても大切な仲間 富岡高等学校「冬季富高の集い」



県立富岡高等学校による冬季「富高の集い」が1月26～27日、磐梯青少年交流の家とファミリースノーパークばんだい×2で行われました。

富岡高校の3学年が揃う最後の催し(卒業式を除く)となりましたが、再会式や表彰式、学年会などが行われ、各サテライトの活躍を称え合いながら学年間の絆を深めました。

また、2日間に渡って行われたスキー実習では、さすが国際・スポーツ科の生徒たち、後半は全員が滑れるようになり“福島”の冬を満喫していました。

【写真提供：富岡高等学校、スクールアルバム LIFE】

あなたが撮った写真をお寄せください

広報とみおかでは、「My Photo Letter」に掲載させていただく写真を募集しています。募集要項等は次のとおりですので、ふるってご応募ください。

◇応募要項

- ・富岡町民で、氏名と富岡町での行政区を掲載できる方。テーマは自然、祭事など自由です。
- ・ピントが合っている写真で、データの場合はメールに添付できるサイズ、プリント写真は専用の用紙に印刷されたもので、大きさはL版か2L版。
- ・写真のタイトルと説明文(150～200字程度)を添付してください。
- ・応募された写真は返却できませんので、あらかじめご了承ください。

◇応募方法

- 現在お住まいの住所、氏名、富岡町での行政区名、電話番号をご記入の上、データの場合は下記アドレスへメールで、郵送の場合は封書で下記までお送りください。
- ・メールアドレス
tom0200-0@tomioka-town.jp
- ・住所
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
富岡町役場郡山事務所企画課広聴広報係

発行／富岡町
編集／富岡町役場企画課広聴広報係
〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
TEL：0120-33-6466 FAX：024-961-3441

富岡町公式ホームページ <http://www.tomioka-town.jp/>
富岡町公式フェイスブック <http://www.facebook.com/town.tomioka.fukushima>
Eメールは富岡町公式ホームページの「メールはこちらから」をクリックし、各課あてにお送りください。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。